

様式 F-7-2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究代表者	部局	文学部		
	職	講師		
	氏名	石川 千暁		

1. 研究種目名 若手研究(B) 2. 課題番号 16K16793

3. 研究課題名 ハーレム・ルネサンス期における性規範の近代化と米国黒人文学の関連性について

4. 補助事業期間 平成28年度～平成30年度

5. 研究実績の概要

最終年度の最大の成果は論文「身体に根ざしたエロティックな力--『パッシング』から『スーラ』へ」である。ハーレム・ルネサンスの代表的作家であるネラ・ラーセンについて研究を進めるにしたがって、現在活躍しているトニ・モリスンがラーセンの作品から創作のインスピレーションを得たのではないかという可能性に思い至った。プリンストン大学図書館に所蔵されているモリスンの原稿を閲覧することができ、モリスンがラーセンを意識して『スーラ』を執筆したことをほのめかすような資料を入手することもできた。こうした発見に助けられ、本格的に二作品の比較検討を行った結果、ラーセンに比してモリスンにおいて身体の描写がより詳細になされていることの重要性が明らかになった。

二作品を分析するにあたっては、黒人レスビアン・フェミニスト詩人オードリー・ロードの思想や、近年のクィア理論（とりわけ生物学の可能性に関する研究）、さらには臨床医学や臨床心理学の知見を参考にした。その過程において、モリスンをはじめとする観察眼、表現力ともに優れた作家たちが身体感覚をどのように描いて来たかという問題に関心を抱くようになり、19年度採択課題「公民権運動以降のアフリカ系アメリカ文学における身体的経験としての痛みと親密性」の着想を得ることができた。

6. キーワード

トニ・モリスン ネラ・ラーセン 身体 親密性 アフリカ系アメリカ文学 女性 セクシュアリティ

7. 研究発表

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名	石川千暁
2. 発表標題	トニ・モリスン『スーラ』におけるエロティックな身体
3. 学会等名	立教英米文学会（招待講演）
4. 発表年	2018年

2 版

〔図書〕 計1件

1. 著者名 中央大学人文科学研究所	4. 発行年 2019年
2. 出版社 中央大学出版部	5. 総ページ数 222
3. 書名 『読むことのクィア 続・愛の技法』第三章「身体に根ざしたエロティックな力--ネラ・ラーセン「パッシング」からトニ・モリスン「スーラ」へ」	

8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

11. 備考

-